

長尾和宏様

お略

御忠告ありがとうございます。ありがとうございます。

多忙で先生の時間を血液検査のみで煩わ
せることは、本当に心苦しく思いますか...

市内の病院では、なかなか理解を得ら
れませんでした。(大抵、医大へ回されます)

そんな折、先生の著書に出会った次第です。

現代医学は、日進月歩、素晴らしいものであると思
います。決して生命を粗末に考えているわけでは

ありません。三大医療、そのものの問題ではなく
先生の著書にもありましたが、病気に与る原因に肉
体的、精神的...魂の問題とありました。

私共夫婦又家族はスピリチュアリズムを学ぶ。20数年に
なります。(相互扶助、利他に生じる時平和があり
利己に生じる時破壊のみがある。人の後に生じる時

始めて生きていると言える)と云う考え方で。未熟者
でそのは生まれてはおりませんが…。

その中で育まれた「死生観」死に対する考え方 一般
人間の生き方でもあると思えます。元氣な時から三大
医療は受けずいと決めております。

自然体で病と自分なりに向き合、て余生。この結論
に達しております。ただ血液検査のみをお願い致して
おりますのは自分なりに出来ること(たいのと、終の
任度(ほと完了してはおります…))の時期又側の者
に出来るだけ迷惑をかけたくない。この三項で…とい
ます。私自身も家族の者も病と死に対する考え方は
同じであります。心は平穏です。

一人ひとりに生かれるべき時があり死ぬべき時がある
それです。自然の摂理の一端を考えております。

誠に勝手では…といいますが。先生の御好意に甘えさせて

頂ける所ら、これから血液検査の山下にお頼み出来ま
したら幸いです。末期に入りましたら痛のみ取り除いて頂け
ればと思います。化病は私の生まれ育、に祈っております。
月に一度懐かしい思い出で通院させて頂いてあります。
福濱に本筆に往診に診察にて超々忙で毎日とら過こ
しのこ々々と思います。とりや即身体に自愛下さいませ。

実、毎日が続きます

追伸

死は下着から死ぬとは限りません。事故もあります。
私共の親、息子、知人、友人の多くが最期死に入らせて頂
いてあります。ありがとうございます。

感謝

■月■日号給日です。よろしくお頼み致します。

■ ■